

《愛知県田原市は、切れ目のない支援で出産・子育てを応援します》

愛知県田原市
定住・移住ウェルカムガイド

子どもと一緒に たはら暮らし



“たはら暮らし”
始めませんか。

CONTENTS

私たち、“たはら暮らし” 始めています

「海が近くにある環境で、のびのび子育て」

「住んでいる場所は、みんな同じ世代！」

「菊づくりに励みながら、地域みんなで子育て」

パパ・ママたはらMAP (おすすめ子育て施設・公園)

子育てするにはぴったり!

私たち、「たはら暮らし」
始めています。



自然豊かな環境の中で、家族はもちろん、
地域みんなで子育てできるのが
「たはら暮らし」の良いところ。
そこで、田原市内で子育てをする3家族をご紹介します!
結婚を機に田原市へ引っ越してきた奥様が、
「田原市での子育て」について本音で話してくれました。

〈聞き手〉

writer 岩下 加奈 さん

愛知県豊橋市在住の1児の母。自然が
大好きで休日は田原市へ遊びに来るほ
ど、田原市好き。しかし、田原市で育
てをするイメージがあまりつかめず…
ここぞとばかりに、ママたちにきわどい
質問をたくさんぶつけます!

—— 皆さん、県外や市外から引っ越してきて
環境の変化に戸惑いはなかったですか?

平野 ●私は元々田原市でサーフィンをしていたので、田原市の
ことはある程度知っていました。

川端 ●サーフィンを楽しむなんてすごい! 私は青森県出身なの
で、田原市のことはさっぱり分からなくて、とりあえず
来ちゃったって感じです。

仲神 ●けど、田原市には海もあるし自然もたくさんあって、「こ
こで暮らしたいな」と思わせる魅力があるよね。

—— 確かに田原市は、自然も豊かでのんびり
暮らせるという感じだと思いますが、
「子育て」になると、実際はどうですか?



仲神 ●子育てに関して、私の地
元である静岡県浜松市
より優れていると感じた
のは「子どもの医療費」。
浜松市は、小さな子ども
でも医療費の一部を負
担しないといけな。田
原市は中学校卒業まで
子どもの医療費が無料
になるから驚きましたね。

川端 ●分かる! 青森県でも一部の負担があるという話を兄か
ら聞きました。医療費無料って小さな子どもを育ててい
る私たちにとっては、すごく助かります。

平野 ●私の地元・名古屋市は地域コミュニティのつながりが
薄い感じがするんです。田原市は隣近所、みんなで互い

を助け合っているという感じ。おじいちゃんやおばあ
ちゃんが子どもたちと気さくに触れ合ってくれて、地域
全体で子育てをしてくれる印象ですね。

仲神 ●あと田原市は、ちょっと歩けば知り合いがいるアット
ホームな雰囲気があり、子育てをしやすのがうれし
いですね。子どもと一緒に遊ぶところもたくさんあり
ます。

川端 ●私は、今住んでいるとこ
ろに同じ世代のパパ・マ
マが多くいるので、友だ
ちも一気に増えました。
隣近所の友だちと頻繁
に会えるので、子育ての
情報もすぐに入ってき
ます。



—— では、子育ての情報は基本的に近所の人から?

川端 ●近所の人が一番多いかも。今は保育園ですが、小学校
に入るときはいろいろ不安な点もあるので近所の人に
聞きました。渥美地域の小学校事情はどんな感じなん
ですか?

仲神 ●共働き世帯が多いから、小学校1~6年生は「放課後子
ども教室」(▶P08参照)に入っている子も多いです。夏休みに
なるとみんなでお弁当を持って出かけましたよ。パン作
りの体験や山登りとかいろんな行事もあって、子どもた
ちは楽しんで「放課後子ども教室」へ行っています。



川端 百百子 さん
青森県出身。仕事の関
係で田原市へ移住。2
児のママ。
▶P06へ

仲神 美由紀 さん
静岡県浜松市出身。
結婚と同時に田原市
へ。小学生2人のママ。
▶P08へ

平野 夏子 さん
名古屋市出身。
2017年12月に2人
目を出産。
▶P04へ

場所: 田原市中央図書館 こどもしつ

—— ちょっと個人的に気になる質問!
田原市は渥美病院にしか産科がなく、病院が
少ないというイメージがあるのですが、皆さ
んはそれで不自由しなかったですか?

一同 ●していないかな(笑)。

平野 ●娘を出産後、1回だけ救急で渥美病院へ行きました。そ
のとき、レントゲンが撮れないから豊橋市まで行った…
というのはありました。それ以外は特にはないですね。

仲神 ●下の子はぜんそく持ちだったのですが、事前に吸入器を
買ったりしていたので、私も夜間に車を走らせることは
なかったですね。

川端 ●ちなみに、私は里帰り出産せずにこの地域で出産しま
したよ。主人のお義母さんが来てくれたので、特に不自
由もなく安心して出産できました。

平野 ●私も、今2人目を妊娠していてもうすぐ出産なのですが、
名古屋市には帰らず渥美病院で出産します!

—— 子育てをしながらの買い物など、
日常の暮らしには不便はない?

仲神 ●子どもの洋服とかはネットで買うことが多いですね。買
い物は不便してなくて、むしろ野菜が新鮮で、近所で
アサリなどの海の幸ももらえるほど!

川端 ●私も日常の暮らしで不便さを感じたことはないです。食
材に関して、最近は伊良湖方面の商店で魚を買ってい
ます。ボリュームもあるし安いのでおすすめです。

平野 ●車があれば何も不自由しませんね。渥美半島はキャベツ
など、旬の新鮮なものが食べられるのがうれしくて。近
所の人から野菜や魚ももらいますよ。あと、驚いたのが、

田原市に来てから、トマ
ト嫌いな人が「このト
マトなら食べられる」と
言っていたこと。甘くて
おいしいって言ってい
ましたよ。キャベツも切
ると水がでるくらい! 新鮮
な証拠ですね。



—— 最後に、みなさんが住んでいる地域の
子育て自慢を教えてください。

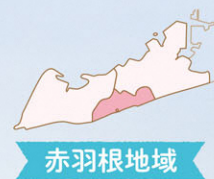
川端 ●三河田原駅の前に新しい商業施設と親子交流施設が
※オープンすること! レストランや子どもが集まれる施設
があるみたいで、今から楽しみです。あと、お祭り好き
が多い! 地区にそれぞれのお祭りがあって「一年の中
でもお祭りが重要」というくらい。小さな子どもでも参
加できるお祭りもあり、子どもたちみんな元気ですよ!

仲神 ●渥美地域は、みんなが温かくて、アットホーム。スーパ
ーに行くとき必ず知り合いに会える! 最近、新しい公園も
できて、遊びに行く場所も増えました。新鮮な野菜が多
く作られているので、子どもたちは野菜が好きですよ。

平野 ●赤羽根地域は、子どもがたくさんいます。普通に歩いて
いたら、子どもたちが「おはようございます!」と大きな
声であいさつしてくれるのが良いですね。あいさつがで
きる子どもがいっぱいです。

※2018年駅前交流拠点LaLaGran、2019年親子交流館すくっとオープン

平野さんご家族の、 たはら暮らし。



赤羽根地域

Hirano Family DATA

田原市赤羽根町在住

平野 海童 さん(知立市出身)
夏子 さん(名古屋市出身)
いちかさん(4歳)
2017年12月に2人目を出産

ご夫婦とも幼少のころからサーフィンをしており、週末になると田原市へ。お互いの親や兄弟もサーフィンでつながっており、2012年の結婚を機に田原市へ。現在は、家族とともに赤羽根地域でサーフショップを営む。

「海が近くにある環境で、
のびのび子育てができます」

—— 幼少期から田原市に来て サーフィンをしていたんですね。

海童さん：お互い最初に出会ったのは、幼少期のころ。家族でサーフィンをするので、週末は知立市から田原市の海に通っていました。当時から、妻のお義父さんやお兄ちゃんとはサーファー仲間で、気さくに話をしていました(笑)。
夏子さん：父や兄がサーフィンをしていて、週末は田原市へサーフィンに行っていました。私もサーフィンをやろうになり、いろんな知り合いができました。結婚を機に田原市で暮らすと決まってからも、全く抵抗がなかったです。「都会に住んだのになんで田原市？」と言われるますが、昔からなじみがあるまちで、第二の故郷のような存在だったのが大きかったです。

—— このまちで子育てをしていて感じたことは ありましたか？

海童さん：東京都や名古屋市に出張へ行ったとき、保育園を見ると園庭がなかったり、ビルの一角の小さな場所にあったり。田原市は、田舎らしく自然豊かな場所の中に広々とした保育園があるので、恵まれていると感じました。
夏子さん：近所には、私と同世代の子どもをもつ家族が多くいます。あと、田原市はさまざまな子育てサポートが充実しているなと感じました。子育てする上でとても環境が良いですね。



—— 子育てのサポートで「これは良かった!」と 印象に残っているものはありますか？

夏子さん：田原市には「健幸カレンダー」という、乳幼児健診や育児相談の時間などが記載されているカレンダーが、一家に1冊配布されるんです。そこに、赤ちゃんサロン※①がいつ・どこであるのか、子どもの健診日があるかなど、一目で分かるようになっているんです。これを見ながら、市の子育てサポートによく参加していました。離乳食教室や、赤ちゃんサロンのベビーピクスは特におすすめです!

—— 休日は家族とどのように過ごしていますか？

海童さん：サーフショップを年中無休で営業していますが、月1回の「ファミリーデー」を設けています。この日は、家族と一緒に出かけ、市内のおいしいご飯屋さんに行くことが多いです。休日以外にも家族一緒に行動することが多いです。夫婦一緒に娘の保育園へ迎えに行くこともあります。自営業だからこそ、家族との時間をきちんととることが大切だと思っています。

1.休日にお店でお絵描きを楽しむ 2.家族みんなでロングビーチでバチリ♪ 3.時間があるときは、ご夫婦で保育園の送り迎えをするそう

パパ目線の子育て

◎なるべく子どもと一緒にいる時間を作る

「繁忙期になると出張することも多いので、お店にいるときは娘と一緒に過ごせるように時間を作っています。保育園から戻って来たら、お店で絵を書いたり工作をしたり、一緒に遊んでいます!」

妊娠中から
ママの支援を
しています

子育て応援! 田原市の 取り組み

▶こんにちは妊婦さん訪問

初産の妊婦さんのご家庭へ、保健師などが訪問するサービスです。妊婦さんの体調管理のアドバイスのほか、出産準備の相談や個別の悩み事にも応じます。赤ちゃん人形を持参し、希望者には抱っこ仕方やオムツの当て方なども体験してもらいます。



▶地域子育て支援センター「こがめルーム」

乳幼児とその保護者を対象に、親子遊びや子育て相談などを通して親子の関わりをサポートするとともに、子育てが孤立化しないよう仲間づくりを進めます。
●こがめルーム
あかばねこども園内専用施設
【お問い合わせ】
あかばねこども園・こがめルーム兼用 ☎0531-45-2416



▶パパのための出産準備クラス

初めてパパになる方と妊婦さんに、パパの妊婦体験や沐浴などの育児体験を行い、産後のイメージをもてるよう準備をしていきます。



①ほっと!すくっと!赤ちゃんサロン

1歳未満のおさんとママを対象に、手遊びを通じた親子の触れ合いや、同じ校区的ママ同士の交流を深めます。



▶子育て安心見守り隊 ～地域を代表した 子育てママの応援隊～

地域の先輩ママたちが、市の養成講座を受け、赤ちゃん訪問や乳幼児健診、女性のがん検診、赤ちゃんサロンでの見守り活動をしています。



川端さんご家族の、 たはら暮らし。

田原地域

Kawabata Family DATA

田原市大久保町在住

川端 宏幸 さん(青森県出身)
百百子 さん(青森県出身)
いつき さん(3歳)、晟生くん(1歳)

ご夫妻とも青森県で生まれ育ち、同じ高校だったのが出会いのきっかけ。卒業後は、2人で仙台市や札幌市で過ごし、2009年に仕事の都合で田原市へ。同じ会社で働いており、百百子さんは産休・育休から職場復帰。

「住んでいる場所は、みんな同じ世代！
隣近所のコミュニティも増えています」



—— 2人とも青森県出身ということですが、
田原市のことは知っていましたか？

百百子さん：仕事の関係でたまたま田原市に住むことになったので、全く知らない場所でした。しかし、高校卒業後、青森県を離れていろんな場所に住んでいたため、新しい土地に行くことは慣れていましたし、ワクワク感のほうが多かったですね。結婚して妊娠が分かったとき、2人とも実家が青森県なので、大丈夫かな…という不安はありましたが、里帰りせずこの地域で出産しました。出産後は主人のお義母さんが2週間ほど手伝いに来てくれたので助かりました。



—— 子育て中に活用した場所などはありましたか？

百百子さん：1人目は子育てが全く分らなかったのですが、出産後の赤ちゃん訪問※①で気さくにお話ができる保健師さんが自宅へ来てくれて、いろんなことを教えてくれました。そのとき、近所に地域子育て支援センター※②があることを知りました。そこは、小さな子どもが楽しめるおもちゃがあったり、雨の日も利用できたりしてとても良かったです。トイレトレーニングや卒乳の話なども参考になり、月2・3回は活用していました。

宏幸さん：いろいろな教室もあって、パパと遊べる「パパ講座」※③もあると聞きました。都合が合わず行けなかったですが、参加したかったですね。

—— 川端さんが住んでいる場所は、新しい家や公園があって住み心地も良さそうですね。

宏幸さん：家の近くに住んでいる人の多くは、同じ世代のパパ・ママで、子どもも同じくらいなので、住みやすい環境ですね。昔ながらの場所ではないので、そこが住みやすかったのかも。あと、この場所に最初に来たときすぐに地域の代表をやったことで、知り合いが増えたのも良かったと思います。また、近所にある公園へ行けば、子どもと遊んでいるパパ同士が集まるので、「今週飲もうよ」とお互いの家を行き来する仲間にもなっています。飲んで席で、子育ての情報交換もしていますよ！

百百子さん：小学校のお子さんの親もいるので「小学生になったら心配、どうしよう」という不安も少ないですね。ここで暮らしているからこそ、地域コミュニティのつながりがどんどん増えていったように思います。県外から来る人は住環境も大切ですね。



1.ワイワイ賑やかで、笑顔あふれる川端さんご家族 2.子どもに絵本の読み聞かせをするご主人 3.「この地域でママ友もたくさんできた」と話してくれた百百子さん 4.サンテバルクたはらでは、ポニーなどの動物に出会える



◎休日は、家族と一緒に伊良湖岬をドライブ

「僕も長男も車が大好き！ドライブがてら、あちこちいろんな場所に出掛けますよ。伊良湖岬方面は、ヤシの木がずらっと並んでいるので、最初ドライブに行ったときは海外みたいな雰囲気でも興奮しました(笑)。絶景のロケーションも楽しめますよ。」

小さなお子さん
向けの支援が
あります

子育て応援！
田原市の
取り組み

①赤ちゃん訪問

保健師または助産師、看護師や子育て安心見守り隊が赤ちゃんの生まれたご家庭を訪問し、体重測定や育児相談、子育て情報の紹介などを行います。(訪問する場合は電話にて事前にご連絡します)



②地域子育て支援センター「さくらルーム」

乳幼児とその保護者を対象に、親子遊びや子育て相談などを通して親子の関わりをサポートするとともに、子育てが孤立化しないよう仲間づくりを進めます。



●さくらルーム
親子交流館すくつと内専用施設
【お問い合わせ】親子交流館すくつと ☎0531-23-1510

③おとうさんとあそぼう(パパ講座)

乳幼児を持つお父さんを対象に、楽しい遊びを体験し、積極的な育児参加のきっかけづくりとして、保育士による講座を開催しています。

【場所】
さくらルーム・なのはなルーム
【お問い合わせ】
親子交流館すくつと
☎0531-23-1510



▶園庭開放

未就園児に園庭などを遊び場として提供しています。遊具で遊んだり、保育園児や保育士と触れ合ったり仲間づくりのサポートをしています。遊びながら子育ての相談にも応じています。

【お問い合わせ】
田原市役所子育て支援課
☎0531-23-3513



仲神さんご家族の、 たはら暮らし。

渥美地域

Nakagami Family DATA

田原市高木町在住

仲神 充基 さん(田原市出身)
美由紀 さん(静岡県出身)
あおい 葵生くん(小学校5年)
えれん 絵恋さん(小学校3年)

名古屋市の大学で知り合った2人。充基さんは名古屋で就職後、2006年の結婚を機に実家(菊農家)に就農。奥様の美由紀さんは、現在保育士として働く。

「菊づくりに励みながら、 地域みんなで子育てしています」



1 2

1.ご主人が働くハウス内で家族集合写真 2.近くにある堤防沿いがワンちゃんのお散歩コース

大きくなっても
安心の支援が
あります

子育て応援！
田原市の
取り組み

① 地域子育て支援センター「なのはなルーム」

乳幼児とその保護者を対象に、親子遊びや子育て相談などを通して親子の関わりをサポートするとともに、子育てが孤立化しないよう仲間づくりを進めます。



●なのはなルーム

伊良湖岬保育園内専用施設

【お問い合わせ】田原市役所子育て支援課 ☎0531-23-3513

② 放課後子ども教室

小学校6年生までの児童を対象に、安全で安心な子どもの居場所を設け、子どもたちと地域の交流を進めます。



【お問い合わせ】

田原市役所生涯学習課 ☎0531-23-3635



—— 引っ越した地域で、人との関わり合いに不安はありましたか？

美由紀さん：お嫁に来たとき、お義母さんと一緒にご近所へあいさつ回りをしました。そのときに顔を覚えてくれて、地元のお祭りでは気軽に話しかけてくれました。田原市は温かい人が多いなぁと感じ、不安は一切ありませんでした。三世代で暮らしているので、おかずを分け合ったり、洗濯物を取り込んでくれたりと、家事を手伝ってくれるのでとても助かっています。

—— 知り合いがいない中で、どのように子育てを楽しみましたか？

美由紀さん：長男が1歳のころ、広報たはらに載っていた地域子育て支援センター「なのはなルーム」※①に参加したことで、いろんなママ友ができ、輪が広がったのがうれしかったです。充基さん：仕事柄、暗くなったら作業は終了となるので、夜は家にいます。子どもをお風呂に入れたり、ミルクを作ったり、できることをやっていました。思い出に残っているのは、パパのための出産準備クラスに参加したこと。お腹に重りをつけた妊婦体験や沐浴体験などを行い、子育てする上で心の準備にもなりました。

—— この地域「ならでは」の子育てについて教えてください。

美由紀さん：子どもたちが通っていた保育園は規模が小さいです。小学校に入学しても、長男の学年は12名の1クラスだけで最初は驚きました。ただ、保育園からみんな一緒なので家族みたいな関係。上級生が下級生の面倒を見てくれて、子ども

たち同士で関係性が築けているのが、この地域らしいなぁと感じました。

充基さん：共働きなので放課後子ども教室※②を活用しています。近くの市民館の2階にあり、学校が終わると子どもたちは教室に行き、宿題をしたり遊んだりしています。この地域は農家も多いので、半数の児童が活用していると思います。

—— 農業という仕事柄、家族との休日はどのように過ごしていますか？

充基さん：農業は作物を相手にしているので、休みが決まっていません。しかし、時間を調整することで都合をつけやすいので、白谷海浜公園に行ったり、伊良湖の恋路ヶ浜でかき氷を食べたり、夏は家族で海水浴に出掛けます。

美由紀さん：最近、子どもたちも手が離れてきて夫婦2人の時間も増えたので、市内のカフェを巡っています！買い物は家族で行くことが多く、近くに大きなスーパーや薬局もあるので不自由はしていません。野菜は必ずJA愛知みなみ産直の「ふれあい広場」で買います。新鮮で値段も安く、生産者の名前も載っているので安心！ママ友の間でも有名ですよ。

パパ目線の
子育て



◎子どもたちの興味が湧くように、 子育てを楽しむ！

息子さん→「菊のわき芽の摘み取りや出荷作業を手伝ってくれる中で、“将来お父さんの後を継ぎたい”“農業の勉強をしたい”と言ってくれました。農業は、頑張れば頑張った分だけの見返りがあり、やりがいある仕事なのでうれしくなりました。」

娘さん→「娘は本が大好きなので、渥美図書館で何冊も本を借りて読んでいます。田原市は、キレイで大きな中央図書館もあるので娘も喜んでます。」



▶ 児童クラブ

保護者の就労などの理由により、小学校の放課後に留守家庭となっている児童を家庭の延長の場として預かります。



【お問い合わせ】

田原市役所生涯学習課

☎0531-23-3635

▶ 渥美図書館

約14万点の蔵書があり、目的の図書が簡単に探し出せるように配慮されています。閲覧室は自然光を取り入れた明るいスペースで、児童閲覧室では子どもたちが自由に絵本や紙芝居を楽しむことができます。



【お問い合わせ】

渥美図書館 ☎0531-33-1114

田原市古田町岡ノ越6-4

遊びに行きたくなる！遊び場紹介

田原市親子交流館



田原市の子育て支援施設「親子交流館 すくっと」といえば、大きなネット遊具・ボルダリング設備などが印象的。週末には市内外から多くの方が訪れる人気スポットです。

でも、そんな魅力的な遊具は親子交流館の役割のごく一部。妊娠期から子育て期までのママやパパをサポートする、親子交流館の多彩な事業の一部を紹介します。



妊娠出産子育て総合相談窓口



子育て世代の皆さんが、安心して子どもを産み育てることができるよう、ママサポーター（看護職）や子育てコンシェルジュ（保育士）が相談に応じています。

妊娠期から子育て期までの、切れ目のないアドバイスの提供が魅力です。小さなお悩みでも結構です。一人で悩まず、まずはご相談ください。

相談専用電話 ▶ TEL 0531-23-1520



土日祝日の子育てサービス



すくっとは、土日祝日も子育て世代をサポートするサービスを提供しています。

●にこっと（一時預かりルーム）※有料

満1歳から小学生未満のお子さんをお預かりします。
平日も実施していますが、土日祝日は1時間単位のお預かりを行っています。



●さくらルーム（子育て支援センター）

田原市の子育て支援センター「さくらルーム」は、おおむね3歳までのお子さんとその保護者が安心して遊べる場所です。滑り台やボールプールなどの遊具で遊びながら、仲間づくりの場にもなります。

土日祝日も保育士による子育て相談、子育て講座、子育て情報の提供を実施しています。



●各種相談・交付

ママサポーターまたは子育てコンシェルジュが、ゆったりとしたお部屋「ゆりかごルーム」で、妊娠・出産や子育てに関する相談にのっています。母子健康手帳の交付もおこなっていて、土日祝日も対応しています。



子育て世代のサポート



●産後ケア事業



出産後、ママの体調がよくなかったり、家族等から十分なサポートが受けられないなど、赤ちゃんとの生活に不安がある方を対象に、産後ケア事業を実施。悩めるママの、頼れるサポートサービスです。

●田原市ファミリー・サポート・センター

育児を手伝ってもらいたい「依頼会員」と、育児を手伝いたい「援助会員」が参加し、地域で子育てを支えあっていくサービスです。利用の相談はすくっとへ。



●ウェルカム田原市 子育て応援訪問

田原市へ転入されたお子さんのいるご家庭へ、子育てコンシェルジュとママサポーターが訪問します。田原市で、安心した子育てができるよう応援します。



子どもと一緒に
遊べる！

パパ・ママ たはら MAP



① 福江公園



大型遊具、水遊び場、芝生広場、バスケットゴールがあり元気いっぱい遊ぶことができます。備蓄倉庫もあり、防災機能も兼ね備えています。

田原市福江町中紺屋瀬古1-1外

② 滝頭公園



広い敷地内に野球場、テニスコート、親水広場、キャンプ場、巨大ゴリラのコンビネーション遊具など、充実した公園施設があります。特にウォーキングコースでは、四季折々の植物を楽しみながら、散歩することができます。

休館日：月曜（祝日の場合はその翌平日）／年末年始（12月28日～1月4日）
スポーツ施設利用時間：9:00～19:00（野球場夜間照明は18:30～21:00）
田原市田原町西滝頭6 TEL 0531-22-3936



伊良湖
クリスタルボルト
伊良湖岬灯台
恋路ヶ浜
日出の石門

③ サンテパルクたはら



遊びを通じて学べる農業公園。野菜の遊園地・産直マーケットなどがあり、手作り体験や野菜収穫体験も楽しめます。

9:00～17:00／木曜休園（祝日の場合はその翌平日）
田原市野田町芦ヶ池8 TEL 0531-25-1234

④ LaLaGran



渥美半島の魅力や味力を提供する『商業施設』、訪れた人に憩いの空間を提供する『まちなか広場』、子育て世代を中心に幅広い世代が楽しさを体験できる『親子交流館』からなる、三河田原駅前の交流拠点です。

田原市田原町西大浜1-31
TEL 0531-24-2345（隣あつまるタウン田原）

⑤ 田原市中央図書館



本・CD・DVDなど約31万点がある図書館。明るく広々とした館内には、ゆとりと読書のできる環境が整っています。

平日：10:00～19:00 土日祝：10:00～17:00
休館日：月曜（祝日の場合はその翌平日）／毎月第2金曜
田原市田原町汐見5 TEL 0531-23-4946

⑫ 赤羽根図書館 ⑬ 渥美図書館

田原市赤羽根町赤土1 田原市古田岡ノ越G-4
TEL 0531-45-3426 TEL 0531-33-1114

まだまだある！ おすすめ子育て施設・公園

⑥ シェルマよしご（吉胡貝塚資料館）

縄文体験ができる資料館と、散策が楽しめる史跡公園
9:00～17:00／月曜定休（祝日の場合はその翌平日）
田原市吉胡町矢崎42-4 TEL 0531-22-8060

⑨ 白谷海浜公園

海と緑につつまれたレクリエーション&スポーツパーク
田原市白磯5
TEL 0531-22-9841

⑦ 蔵王山展望台

四季折々に変化する展望台からの眺めは最高！
展望室 9:00～22:00／年中無休
田原市浦町蔵王1-46 TEL 0531-22-0426

⑩ 初立池公園

芝生広場、水遊び場、散策道など、訪れる人の憩いの場
田原市堀切町
TEL 0531-23-3516（渥美半島観光ビューロー）

⑧ 田原児童センター

遊び場として自由に来館して過ごすことができる施設
10:00～12:00、13:00～17:00／月・火定休
田原市田原町西滝頭6 TEL 0531-23-4761

⑪ あかばねロコパーク、ロコステーション

太平洋に面した南国調の公園（道の駅隣接）
田原市赤羽根町大西32-4
TEL 0531-45-5088（ロコステーション）

愛知県田原市への定住・移住についてのお問い合わせ

愛知県田原市役所 企画課 地域戦略係

〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1

TEL 0531-27-7978 FAX 0531-23-0669

<http://www.city.tahara.aichi.jp/seisaku/1005169/1005716.html>

✉ jinkou@city.tahara.aichi.jp



Instagram #たはら暮らし

一人ひとりのたはら暮らし。ちょっとしたぞいてみませんか。
Instagramで「田原市」(@tahara_kurashi)と検索。



愛知県田原市の子育てについてのお問い合わせ

親子交流館 すくっと
TEL 0531-23-1510

愛知県田原市役所 健康課
TEL 0531-23-3515

あつみライフランド 健康課
TEL 0531-33-0386

愛知県田原市役所 子育て支援課
TEL 0531-23-3513

令和4年3月発行

●本誌に掲載されている情報は、平成29年11・12月現在の取材、及び令和4年2月の調査によるものです。 ●施設の情報は変更になる場合があります。